

科目名	学科	学年	単位	教科書（発行者）	副教材等
国語総合（古典分野）	国際交流科	1	3	新探求国語総合 古典編（桐原書店）	新探求国語総合 予習復習ノート等

科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の文章や文化に親しむ態度を育てる。</li> <li>・基本的な古語の意味、古典文法、漢文の訓読のしかたを習得する。</li> <li>・登場人物の心理や行動を的確に読み取る能力を育てる。</li> </ul>
---------	---

学期	月	単元・題材	学習項目	学習のねらい（到達目標）
一	4	古文入門 「児のそら寝」 「檢非違使忠明のこと」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的仮名遣い</li> <li>・現代語にない言葉の意味</li> <li>・登場人物の心理と行動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的仮名遣いを習得する。</li> <li>・現代語にない言葉があることを知り意味を調べる。</li> <li>・登場人物の心理と行動が理解できる。</li> </ul>
	5	文法 動詞の活用 漢文入門 訓読に親しむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代語文法の復習</li> <li>・動詞の活用</li> <li>・日本語と漢文の語順の違い</li> <li>・返り点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古語辞典の引き方を習得する。</li> <li>・動詞の活用を理解する。</li> <li>・日本語と漢文の文の構造の違いを知り、慣れる。</li> <li>・返り点を理解し、読む語順を習得する。</li> <li>・故事成語が中国古典に基づいていることを知る。</li> </ul>
	6	「推敲」 「知音」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の面白さ</li> <li>・句形</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の面白さがどこにあるかを理解する。</li> <li>・基本的な句形を理解できる。</li> </ul>
	7	随筆と日記 『土佐日記』 「門出」 「帰京」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の心理と行動</li> <li>・主語の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の心理と行動が理解できる。</li> <li>・述語動詞の主語が誰であるかを理解できる。</li> </ul>
	9	物語と軍記 伊勢物語 「芥川」 「筒井筒」 文法 助動詞の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の構成や展開</li> <li>・登場人物の心理と行動</li> <li>・和歌の役割</li> <li>・動詞の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の構成や展開を把握し、登場人物の心理と行動を理解できる。</li> <li>・歌物語における和歌の役割を理解する。</li> <li>・動詞の活用を理解する。</li> </ul>
二	10	随筆と日記 徒然草 「ある人、弓射ることを習ふに」 「奥山に…」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作者の思想</li> <li>・助詞・助動詞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随筆を読んで、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。</li> <li>・表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。</li> <li>・助詞・助動詞について理解を深め口語訳に活かす。</li> </ul>
	11	史伝 「鶏口牛後」 「臥薪嘗胆」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の心理と行動</li> <li>・原文での意味と現代での意味</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の心理と行動が理解できる。</li> <li>・原文での意味と現代での意味の違いを理解する。</li> </ul>
	12			
三	1	物語と軍記 『平家物語』 「木曾の最期」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の心理と行動</li> <li>・敬語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の心理と行動が理解できる。</li> <li>・尊敬語、謙譲語が理解できる。</li> </ul>
	2	思想 論語、孟子 詩文 送元二使安西 涼州詩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・儒家思想の系譜</li> <li>・孔子の思想</li> <li>・情景や作者の心情の読み取り</li> <li>・漢詩の決まり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・儒家の思想や系譜を理解する。</li> <li>・情景や作者の心情を読み取り詩的世界を理解する。</li> <li>・押韻や対句など近体詩の形式・表現を理解する。</li> <li>・漢詩の世界を鑑賞し、読み味わうことができる。</li> </ul>
	3			

評価の観点・評価の方法	◎評価の観点				
	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	国語や言語文化に関する関心を深め、国語力の向上を図るとともに、すすんで表現したり、理解したり、伝えたりする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章に書く。	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。	表現と理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身に付けている。
◎評価の方法 「評価の5観点」に基づいた評価、授業中の発言や発表、週末課題の提出、小テスト、レポート、定期考査の成績、出席状況を総合して評価する。					